

《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。

本用紙は追加可能です。

## 1. 会員の増加や組織の充実・発展

### (1) 令和3年度から令和4年度にかけて会員数を増加させることができました

令和3年度会員数65名、令和4年度会員数67名と若干ですが会員数を増加させることができました。青年部への入会経路は、自身の先生に勧められてという方がほとんどですので、先生方にいかに青年部の活動を知っていただき、紹介したいと思っていただくことが大変重要だと考えています。そのため、以下のような活動を実施しています。

- ・支部役員会での活動報告、青年部会員員数の発表
- ・支部茶会での青年部紹介や行事報告の展示
- ・支部研究会での青年部パンフレットの配布



令和3年度秋の茶会での活動報告の様子



パンフレット配布の様子

### (2) 全会員が1年に1回以上行事に参加するという目標のもと活動を行い、組織の充実発展に努めました

会員の活動に対する満足度の向上により、会員継続につなげるため、会員の参加したくなる内容、参加しやすい手段での行事設定を行いました。行事内容は、青年部幹事会にてそれぞれが会員から聞き取りをした内容も踏まえ、決定しました。また、手段については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が深刻であったため、主にオンラインで行事を実施しました。ただし、オンライン行事に抵抗がある・オンラインをできる機器がないという声も会員から聞かれたため、アナログ且つ集まらずにできる行事「一碗りレー」も実施しました。(行事の詳細は、「7. ITの活用、活発な広報活動 コロナ禍での充実した活動推進を含む」に記載します。)

## 2. 青年茶人や青年部会員としての資質の向上、リーダー育成

### (1) 毎年、茶道に関わる勉強会や茶道具の作製を行い、青年茶人としての資質の向上を図っています

富士青年部の自主行事は、毎年、「勉強会」「茶道具作成」を一回ずつ実施しています。令和3年度は、勉強会として「お道具の扱い勉強会」、茶道具作成で「駿河千筋細工花入作製」を、令和4年度は、勉強会として「蒔絵について」、茶道具製作で「茶杓削り」を行う予定です。勉強会や茶道具作成での学びを青年部茶会という実践の場で生かすことで、青年茶人として成長していきたいと考えております。



お道具の扱い勉強会(配信係)



駿河千筋細工花入作製(配信係)

### (2) 行事担当制によりリーダー育成を図っています

富士青年部の行事は、青年部役員が2人一組で行事担当者となり、講師の選定や行事の準備を実施しています。担当行事の企画や当日の設営を通じて、主体的に動く力や人を動かす力などリーダーとして必要な資質を身につけることができると考えています。



《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。

本用紙は追加可能です。

### 3. 茶道を通じた地域 社会 ボランティア等、或いは国際社会への貢献

#### (1) 地域団体や地域の企業と共同して行事を実施しました

##### ① 富士青年会議所と共に、茶道を通じSDGsを知っていただく活動をしました

富士市がSDGs未来都市に選定されたことを受け、富士青年会議所が市民を対象としたSDGs普及イベントを開催しました。その中のブースとして茶席を持たせていただき、日本の伝統から持続可能な生活を知っていただく場としました。



お茶席の様子



富士青年会議所との共催



富士市がSDGs未来都市に選定されたことを祝すモニュメント

##### ② 地域団体と共に、茶道を通じ地域活性化を目指す活動をしました

地域活性化を目的とした、NPO法人楽しいことやら座主催の富士山御蔭祭、地元商店街2か所のイベント内での呈茶席を依頼いただきました。実施に向け準備を進めましたが、令和3.4年度は中止や内容変更により、呈茶席を行うことはできませんでした。しかし、準備を通じ地域とのつながりも増え、次年度以降につながるものと考えています。

##### ③ 地元企業とともに、茶道を通じ地域の子どもの健全育成のための活動を行いました

コロナ禍で遊び場を失った子ども達のために、最終組が回った後のゴルフコースを開放する活動をしている、朝霧カントリークラブとのコラボレーション企画で、ゴルフコースでの親子ピクニック茶会を行いました。茶道の未経験者を含む親子に参加していただき、子ども達に思いっきり遊べる場所とおいしいお茶を楽しんでいただくことができました。

※1



※3



※1 子ども達にお茶の点て方を説明する様子

※2



※4



※2 子ども達が実際に点てている様子

※3 スナッグゴルフを楽しむ様子

※4 子ども達がゴルフコースで遊んでいる様子



《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。

本用紙は追加可能です。

#### 4. 親支部との連携

##### (1) 支部茶会にて青年部席を受け持ちました

令和3年度は富士支部主催秋の茶会、令和4年度は富士支部主催のチャリティー茶会にて、青年部席を担当いたしました。

実際に自分たちで、お茶会の準備や当日の運営をすることは大変勉強になり、貴重な機会をいただけることを、感謝しております。

※1



※3



※2



※4



※1・2 秋の茶会の様子

※3・4 チャリティー茶会の様子

##### (2) 支部茶会にて受付・誘導係を担当しました

令和4年度富士支部初点茶会にて受付・誘導を担当いたしました。新型コロナウイルス対策で、例年と異なる場所、方法での開催となり、混乱が想定されたため、支部の事業部のお手伝いをしました。支部の活動の中で青年部として貢献できる場所には、積極的に関わらせていただきたいと思います。

#### 7. ITの活用、活発な広報活動 コロナ禍での充実した活動推進を含む

##### (1) ITの活用を推進しました

###### ① 会議を、常時、ハイブリット開催とし、状況に応じてオンラインのみでの実施としました

令和3.4年度は青年部役員の集まる会議を常時現地とオンラインとのハイブリット開催とし、それぞれの都合や状況に合わせて参加方法を選べるようにしました。また、地域で新型コロナウイルスの感染症が特に広がっている期間は完全オンラインでの開催としました。

常時ハイブリットでの開催とすることで、新型コロナウイルス対策以外でも、遠方にいる・家を出られないなど個々の事情に応じた参加が可能になりました。



いずれもハイブリットで会議を開催している様子

###### ② 幹事間の資料共有にGoogleドライブを使用しています

会議や行事の資料、会員の行事出席状況など、役員間で共有したい資料は、Googleドライブを使用しています。また会議の議事録もGoogleドライブに入れることで、会議の欠席者にもスムーズな情報共有ができています。



《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。  
本用紙は追加可能です。

## 7. ITの活用、活発な広報活動 コロナ禍での充実した活動推進を含む

### (2) 広報活動を活発に実施しました

広報活動は、特に、会員拡大と会員継続の観点から大変重要であると考えています。既に1(1)で述べたように、支部の行事での活動紹介を行っています。ホームページは、入会を考えている方が、どのようなことをしている団体なのか、どんな人がいるのかを確かめるのに使用するのに使われることが多いため、行事の内容や雰囲気分かるような投稿を心掛けています。また、特に若い世代は、ブラウザ検索よりSNS検索をする方も多いため、Instagramでの投稿も開始しました。Instagramは現会員にも登録を促しており、参加できなかった行事でも内容を知ってもらうことで所属していることのメリットを感じていただくことができると考えています。プレスリリースについては、地域に活動を広く知っていただくことを目的として実施しています。直接的に会員拡大には繋がりがづらいですが、地域とのつながりを作るには効果的であると考えています。

#### ① ホームページ(富士支部・東海ブロック)に青年部活動報告のブログ記事を投稿しました

青年部行事や、参加した外部行事について載せています。写真なども入れながら、活動の雰囲気を感じていただけるような投稿を心掛けています。



富士支部ホームページへの投稿



東海ブロックホームページへの投稿

#### ② 富士青年部のInstagramを開設しました

ホームページと同じく、青年部行事や参加した外部行事について載せています。さらにInstagramには現会員が見ることも意識して、行事の準備の様子や経過、ブロックの行事など、ホームページより細かな内容を紹介しています。

#### ③ プレスリリースを実施しました

令和3年度のSDGs茶会と、令和4年度の親子ピクニック茶会を地元紙で取り上げていただきました。直接的な会員拡大には繋がりませんが、地元で広く知っていただくことで、お茶や青年部活動に興味が増えること、地元の様々な団体とのつながりができればと考えております。



※1 令和3年度SDGs茶会、富士ニュースの取材を受けました。

※2 令和4年度ピクニック茶会、富士ニュースの取材を受けました。



《自由記述欄》 写真、新聞の切り抜き等を貼付いただいても結構です。  
本用紙は追加可能です。

## 7. ITの活用、活発な広報活動 コロナ禍での充実した活動推進を含む

### (3) コロナ禍でもできる行事を考え、活動を推進しました

#### ① オンライン行事を実施しました

令和3年は「お道具の扱い勉強会」「駿河千筋細工花入制作」「総会」「卒業会」をオンラインで開催しました。令和4年は「蒔絵勉強会」をオンラインで実施予定となっています。もともと集まって開催する予定だった行事を状況によってそのままオンラインに変えたり、オンラインで実施できるものに内容を変更したり、行事計画を柔軟に変えていきました。感染が拡大している状況でも比較的中止になりにくいオンラインの行事を実施することで、活動の推進をはかることができました。

※1



※3



※2



※1 お道具の扱い勉強会の配信の様子

※2 駿河千筋細工花入制作の様子

※3 卒業会の様子

#### ② 手紙を使った一碗リレーを実施しました

オンラインの行事を案内する中で、会員よりオンラインは使えず、もしくは、使いたくなく行事に参加できないという声がありました。また、SNSでの交流にも不安を感じる会員も存在します。コロナ禍に対応しつつ、全ての会員にとって参加しやすい活動は何かを話し合った結果、手紙を使ってつないでいく形の一碗リレーを実施することになりました。支部の先生方や青年部OBなど、青年部会員以外にも多く参加いただきました。令和3年の一年をかけてつないでいき、手紙を会記として巻紙に貼っていきました。コロナ禍でなければ行わなかった活動だと思いますので、令和3年度の貴重な活動成果として形に残すこともできました。



完成した会記



支部のお茶会で展示した様子



一碗リレー中の様子